

地方版財政教育プログラムの実施（鹿島高校）

佐賀財務事務所では、若年層が日本の財政に興味を持ち、日本の将来を考えてもらうために「財政教育プログラム」を実施しています。

今回、鹿島高校に地域課題への対応策を検討するため立ち上げられた「地域創生」グループ[※]の所属生徒を対象に鹿島市の予算を題材とした「地方版財政教育プログラム」を実施しました。

- ・ 日時：令和4年6月10日（金曜日）5限目
- ・ 参加：鹿島高校2年生 9名（地域創生グループ所属生徒）

※ 鹿島高校では探求学習の時間を活用して令和元年度から3年度末にかけて地域プロジェクトを実施。令和3年度の実績として鹿島市と当所が連携してプロジェクト内に「地域創生コース」を立ち上げ（詳細は[こちら](#)）ており、プロジェクト終了後も「地域創生グループ」に名称変更のうえ活動を継続。

授業では、「予算シミュレーション」ツールを用い、限られた予算の中、当所職員や鹿島市職員との意見交換も踏まえ、グループ内で「地域創生」に紐づく予算プランを各自が考えるグループワークを実施しました。

グループでの議論を通じ、様々な立場からの意見を取りまとめ、皆が納得する予算プランを考えることの難しさを認識する授業となりました。

また、鹿島市の予算を題材とすることで、同市が実施する様々な施策についての理解を深めたほか、「地域創生」グループで今後検討が本格化する地域課題への対応策に、「実現可能性」の視点を取り入れるきっかけにもなりました。

